

九州・山口地域の安全・安心と経済的发展を支える社会資本整備について

九州・山口地域は、自動車産業や半導体関連産業など、多くのものづくり産業が集積し、また、多彩な観光資源や農林水産資源などを有している。今後、九州・山口地域が一体となって将来に向けた成長戦略を描き、産業・観光資源等をフルに活用した地域間連携によって、それを実現させていくためには、循環型高速交通ネットワークの整備が不可欠である。

また、東日本大震災においては、高速道路や鉄道のネットワークが住民避難や緊急輸送路としての機能を発揮するなど、災害時における社会資本の役割の大きさが改めて認識されたところである。加えて、九州新幹線は中国・関西圏との連携による社会経済の発展等に大きく寄与するものである。

しかしながら、九州・山口地域における高規格幹線道路や九州新幹線等の整備は依然として不十分なままであり、各地域には未整備区間(ミッシングリンク)が点在している状況にある。

国においては、社会資本整備に必要な予算総額を確保するとともに、中長期的見通しを示しながら、九州・山口地域の社会資本を計画的かつ早期に整備するよう求める。

1 社会資本整備予算の総額確保

今後、必要とする社会資本整備を明確な見通しの下で計画的に実施できるよう、地域自主戦略交付金等も含め、予算の総額を確保すること。

2 高規格幹線道路・地域高規格道路の着実な整備

産業・観光振興等に重要な役割を果たす東九州自動車道や九州横断自動車道 長崎大分線・延岡線、西九州自動車道、南九州西回り自動車道、那覇空港自動車道、山陰道といった「高規格幹線道路」や、高規格幹線道路を補完し、地域の交流・連携・連結機能を強化する「地域高規格道路」について、計画の前倒しを含め、早期にミッシングリンク等を解消するよう、必要な予算を確保すること。

3 九州新幹線西九州ルート（長崎ルート）の事業促進

西九州ルート（長崎ルート）の早期開業のため、武雄温泉～長崎間（肥前山口～武雄温泉間の複線化事業を含む）について早期に認可・着工するとともに、山陽新幹線への乗り入れが可能となるフリーゲージトレインの実用化に向けた技術開発を促進すること。

平成24年6月

九州地方知事会
会長 大分県知事 広瀬 勝貞